

モデル事業名	「いちのみや地域応援隊」事業
活動団体名	99BEACHGUARD (キュー・キュービーチガード)
ホームページ	http://blog.livedoor.jp/beach_guard_99/
所属/ 担当者名	ご担当者氏名 (お問合せ先)
連絡先	電話番号、Eメールアドレス (上記ご担当者の連絡先)
活動地域	千葉県長生郡一宮町

● 活動地域の概要

本地域は、首都圏から 70 キロメートルに位置し農業、サーフィンなどを中心とした観光などが主な産業となっている。また、昔から西の大磯、東の一宮といわれ有数のリゾートが形成されておりリタイヤーした人の移住や二地域居住の地としても人気が高い。人口約 13,000 人、高齢化率約 25%である。



【位置図】



【駅前にシャッター通り商店街】



【耕作されなくなった温室】

● 活動地域の課題

本地域でも高齢化が進みつつあり、特に農業従事者の高齢化による耕作放棄地の増大、公共交通機関の不備により高齢者の日常生活への影響が出ている。(郊外スーパーの進行により、中心市街地が空洞化し日常の買い物や通院などに支障をきたしている。) 一方、世界的なサーフィンスポットとして一宮に居住する若者が増加してきている。(先般も地価調査の結果、ニセコ、軽井沢に並んで地価上位が見られる地域としてマスコミ登場している)。本地域で働きながらサーフィンを楽しむスローライフスタイルを希望する若者が増えてきており、こうした若者を活用した新たな雇用の創出が急がれている。同時に中心市街地の空洞化や高齢化により日常的な支援が必要な高齢者の増加や農業後継者不足などによりこれらの支援に必要な新たな労働資源が求められている地域でもある。

● 活動の内容

・平成21年度

● 共助の町づくりを進めるために自立的な運営 (経営)

● 行政需要への市民自らの取組 (役所頼りから自らが行う)

を目的とした地域自立支援組織 (経営体) 設立に資するため以下の活動を行なっている。

① 都市との交流の実験 (都市における地元農産物による市、体験農業)

ア. 首都圏マンションにおける農産物直販

イ. マンション居住者向け市民農園・体験農業の試行

② 高齢者への支援実験 (買い物代行、病院付き添い)

ア. 買い物代行

イ. 病院付き添い

③ 公共施設の維持管理実験 (海岸に設置された公衆用トイレの維持管理、海岸清掃、キャンペーン)

④ 地域コミュニティ再生にかかる集落単位での聞き取り調査

・平成21年度

<活動の状況>

①都市との交流の実験（都市における地元農産物による市、体験農業）

地元の高齢者等の小規模農業生産者が作った作物は、地元の直販所で販売されているがもともとマーケットの規模が小さいことからあまり売れないのが現状である。これを首都圏のマンションの管理組合と提携し販売を行なっている。また、今後、マンションでの園芸教室と地元での農業体験交流会を実施し地元農業生産物への理解を深めるとともに都市との交流を深める予定である。

②高齢者への支援実験（買い物代行、病院付き添い）

病院の付き添い、散歩の同行、買い物代行を各1回実施。介護保険適用の認定が受けられないが支援が必要な高齢者に対する支援を実施

③公共施設の維持管理実験（海岸に設置された公衆用トイレの維持管理、海岸清掃、キャンペーン）

本団体が、資金集めから行ない自らの力で設置したトイレの日常管理（毎日、交代で清掃を実施）を行なうとともに周辺地域や広範な利用者の支援の輪を広げるためにサーフィン大会を実施

④地域コミュニティ再生にかかる集落単位での聞き取り調査

地域満足度の向上と、地域支援必要度の高い項目の支援の向上で地域自立、地域満足度を高めることにより「生まれてから、死ぬまで暮らせる地域づくり」の資料を得るために

地域満足度、地域自立度、地域支援必要度を図るアンケート調査を各集落単位で行なう予定（2月中旬実施）

<地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等>

①都市との交流の実験（都市における地元農産物による市、体験農業）

当初、イベントとして開催していたマンションでの市が、管理組合側から定期的な開催要請が来るなど定例化に向けた動きが出てきている。また、生産者側も地元の消費者以外の販路が広がりやりがいを感じてきている。

②高齢者への支援実験（買い物代行、病院付き添い）

今回は、すべて無料での実験で家族を含め大変喜ばれている。一宮町は、東京や千葉への通勤圏でもあることから昼間、高齢者が取り残されることがあることかサービスの継続要望が出ている。

③公共施設の維持管理実験（海岸に設置された公衆用トイレの維持管理、海岸清掃、キャンペーン）

当初、限定された会員だけが清掃活動をしていたが、清掃活動の輪が広がり多くの人がかかわるがわる参加するようになってきた。また、活動が評価され日本トイレ協会の表彰を受けた。また、日常的にトイレを利用している他地域からのサーファーの一部の方々は、使用后、清掃していく人も現れてきた。



さいたま市での野菜販売



高齢者支援



サーフィン大会

● 今後の課題及び展望

・課題

高齢者向け支援、農業支援、都市との交流ビジネス、サーフィン大会ビジネス等、複合的な事業収益による運営を目指しているが、当面の期間（2年から3年）利益確保は困難が予想される。国が進める地域自立支援メニューへの積極的な参画が必要である。

・展望

活動を総括して、自立的運営組織の立ち上げを22年度中に行なう予定である。

一宮町や専門家との連携を強化し、国が進める地域自立支援メニューへの積極的な参画を行なう。